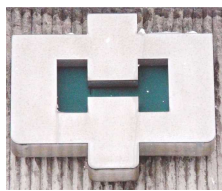


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



あ さ ひ こ
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成29年 8月28日(月) 第8号

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

嬉しかったこと、二学期へつなごう

一学期終業式 で、一学期を振り返って嬉しく思うことを2点話しました。紹介します。

1 「授業でお互いに聞き合ったり教え合ったりすることが、当たり前になってきたこと」

学び合う関係が抵抗なくできてきて、互いの対話を通して理解を深めようとしていることがとてもよいです。6・7月と教育委員会の指導主事先生が来校され、皆さんの授業を参観しました。中学校区の研修会では、畑野小のほぼ全員の先生方が2年生理科の参観をしてくださいました。参観された先生方がおっしゃってくれたのが、畑野中は「挨拶がいいですね」と、授業に関しては「互いに聞き合う関係、教え合う関係ができていて雰囲気がいいですね」です。

畑野中では、「かかわり合い、学び合う授業」を意識して授業を工夫しています(畑野中の先生方の研究テーマです)、と昨年も話したことがあります。また、分からない時「教えて」が言えること、聞かれた人も分かるように教えようと考えを整理することでもっと頭に入ること、も伝えてきました。良好な人間関係ができてきて、互いにかかわり合って、学び合うことに抵抗がなくなったと感じます。安心して人に聞ける。そして、一人で考えるより友達や先生に聞くことや一緒に考えることが実は楽しく、とても大事な学びであることを実感できてきているのだと思います。

また、どの学年も、そして学年を超えても、互いを信頼し、感謝の気持ちを伝えられる、このことが畑野中のつながりを強くしています。今、当たり前に行っている大会前後の学年間の応援メッセージや感謝メッセージのやり取りも、形だけでなく一人一人の思いが込められているからよいのです。

普段から聞き合ったり、学び合ったりする姿を大切に、それらの関係を生かし、みんなで協力し高め合う畑野中が確実にできつつあることをとても嬉しく思います。7月に入って猛暑と蒸し暑さで、集中力が欠けそうな時でも、皆さんは一生懸命授業に参加していました。精神的にだらけていないところが立派です。二学期も頼みますよ。

体育祭結団式(7月21日)を見ていても、3年生がリーダーシップを発揮し、学年を超えた団結がすでにできているように感じます。感動の『創立70周年記念体育祭』になるだろうと予感しています。

2 「臨機応変に機転の利く行動ができるようになってきたこと」

4月の修学旅行の班別自主研修で、班員みんなで協力して、時間調整や暑さ対策、迷った時の対応など、臨機応変に活動していたことは、「学校だより(第2号)」でも紹介しました。班長を中心にみんなで相談し、全員のことや時間のことを考え、見学時間の調整や見学場所のカットは見事でした。それらもきちんと本部に報告して確実に行動していました。

また、先日の軍団決めの時、生徒会本部が見ている人にも楽しんでもらえるようゲームやレクを織り交ぜながら企画してくれました。その時、長机が倒れ、振ると色が出るペットボトルも落ち、色が…。誰もが「あっ!」と思うハプニングでした。すぐに作り直す準備にかかる生徒会の動きは素早かったですし、この空いた時間を青木副会長がインタビューでその場をつなぎました。臨機応変に機転を利かせた行動でした。その時々で、今できることを判断し、実行することは素晴らしいことです。皆さんはどう思いますか。

創立70周年の節目の畑野中を「高め合う畑中、機転を利かせる畑中」で、もっともっと良くしていきましょう。

終業式が終わった後、体育館の床窓と大きな扉を数名の生徒が素早く閉めてくれました。誰かに言われて動いた訳ではない生徒たちに「早速、機転の利く行動だね。ありがとう。」と声を掛けました。

また、この日は50年に1度の大雨に見回れ避難勧告や避難指示が出されました。河川が溢れ通行止めの所もあり、安全確保のため保護者の皆様からお迎えをお願いしました。ありがとうございました。

租税教室、税金について考える

「税」というと、どんな税を知っていますか?」の質問に、「所得税」「消費税」「固定資産税」…等々、積極的に手を挙げてたくさんの発言がありました。3年生を対象にした租税教室が7月21日行われ、法人会の金子様から税の種類、税の公平な集め方、税金の使い道等について、分かりやすく教えてもらいました。講師の話をしっかり聞いて、反応もよく、金子さんもやりやすかったと喜んでくださいました。最後に、税金のある世界とない世界を描いたアニメーションを見て、税金の意義を理解していました。そして、アルミ製のアタッシュケースから1億円の見本が出され、実際に持って、1億円の札束の大きさと重さを体感しました。「みほん」と書いてあっても、みんなの顔は“ほくほく”でした。



トレセンに参加してきました

JRCトレセン（リーダーシップ・トレーニング・センターの略）に2年生（河原さん、中川さん、大間さん、長田さんの）4人が7月27・28日、参加しました。暑い日でしたが、1泊2日で他校の生徒とも交流し、立派にリーダー研修をしていました。私もセンター長として楽しませていただきました。

心に残ったこと 2年 河原さん

2日間のトレセンに参加して、心の残ったこと、大変だったことがあります。

まず、大変だったことは、自分から行動することです。このトレセンは基本的に自分たちで考えて行動しなければいけなく、レクリエーションを1から考え、準備も計画も生徒でやりました。自分は初めてで、すごく大変でした。

心に残ったことは、初対面の人とたくさんコミュニケーションをとり仲良くなれたことです。これはこれからの生活ですごく生きると思うので、体験してよかったです。

2日間で自分は自主性、コミュニケーションの2つが大きく成長したと思います。とても貴重な体験もできて、ものすごくやりがいもありました。学校でも学んだことを生かして生活を送りたいです。

世界の子どもを知って 2年 長田さん

少年兵について思ったことは、ひどいということです。なぜひどいと思ったかということ、まだ小さくて子どもなのに兵士になって戦って、最悪の場合死んでしまうからです。また、安全な水を確保するために、数10kmの道のりを何回も何回も運ばなければならないなんてかわいそうだと思います。それで、子どもたちは学校にも行けず、読み書きができないなんて、私には信じられないことでした。

世界の人を救うために私ができることは募金活動です。JRCの募金には積極的に参加しようと思います。少しでも世界の子どもたちが不自由なく暮らせれば良いと思います。



夏休みの活躍

バスケット部 両津川開きオール佐渡バスケットボール大会 2位

バドミントン部 大塚ソノエ杯バドミントン大会 1年女子シングルス 3位 渡部さん

女子バレーボール部 トキの子カップ中学校バレーボール大会 優勝

わたしの主張佐渡地区大会 奨励賞 2年 河原さん

夏休み中、部活動や体育祭の準備で頑張る姿が見られました。時折宿題を提出に来て、明るい顔を見せてくれました。中には「出かけるので、早めに持ってきました。」と嬉しそうに置いていった生徒もいました。

